

平成 30 年 5 月 29 日現在

機関番号：13301

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2015～2017

課題番号：15K12719

研究課題名(和文)精子・卵子・代理母出産の国際取引と家族形成

研究課題名(英文)International trading of sperm / ovum / surrogate mother's birth and family formation

研究代表者

日比野 由利 (HIBINO, YURI)

金沢大学・医学系・助教

研究者番号：40362008

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,600,000円

研究成果の概要(和文)：生殖技術の利用によって形成される家族について、国内外で調査研究を行った。生殖技術によって形成される様々な家族を念頭に置き、当事者への支援策を検討した。

1. 国内外の先行研究の検討を行った。とりわけ海外の文献を重点的に検討した。2. 国内で、「卵子提供・代理出産で家族をつくる」と題した当事者向けのセミナーを主催し、研究期間中に計4回、実施した。セミナーでは、海外で得た知見を中心に、とくにテリングなどについて情報提供を行い、セミナー後の情報交換会で参加者からフィードバックを得た。3. 海外の現状について現地調査を行った。

研究成果の概要(英文)：A survey on families formed by third party reproduction in domestic and overseas was conducted. With consideration of various families formed by assisted reproductive technologies, effective support system for them was examined.

1. Literature review was conducted among both domestic and overseas. 2. I organized seminars for the parents and children entitled "Building families through egg donation and surrogacy". The seminars were held four times in total during the research period. In the seminar, information regarding how to tell the truth to the children obtained in overseas was provided by the researcher and feedback was gained from participants at the meeting after the seminar. 3. Field survey was conducted to explore the current situation overseas.

研究分野：社会学

キーワード：卵子提供 代理出産 出自を知る権利 家族

1. 研究開始当初の背景

生殖ビジネスのグローバル化が進んでおり、精子や卵子、代理母出産などが国境を超えて取引されている。こうした技術を、不妊カップル、独身者、同性愛者など様々な人々が利用し、家族を形成している。晩婚化・晩産化が進む我が国では、海外での卵子提供によって出産に至る女性が増加している。生殖技術の浸透やグローバル市場の発達を前提として、人々の家族形成へのニーズが増大しており、これらの技術を利用して形成される家族についての調査研究、そして対応策を検討することが急務である。

2. 研究の目的

生殖技術の利用によって形成される家族について、国内外で調査研究を行う。生殖技術によって形成される様々な家族を念頭に置き、課題やニーズを調査し、支援策を検討する。卵子提供者や代理出産者への調査も行う。海外の動向に関しては、LGBTによる家族形成などにも着目することで、近い将来に我が国にも招来される問題群を検討する。

3. 研究の方法

文献によって先行研究の検討を行い、国内外での調査を行う。インタビュー法とアクションリサーチの方法を用いる。

4. 研究成果

海外での調査を行い、関係者へのインタビューを実施した。簡易レポートをホームページやブログに掲載するとともに、報告書を作成した。国内では、当事者向けのセミナーを東京や京都で計4回開催し、海外の法律や当事者支援団体の活動、テリングなどについて、情報提供を行った。情報交換会で、当事者からフィードバックを得た。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計12件)

1. Ishii T, Hibino Y. Mitochondrial manipulation at fertility clinics: Regulation and responsibility. *Reproductive Biomedicine & Society*.(accepted) (査読あり)

2. Hibino Y. Non-commercial surrogacy among close relatives in Vietnam: Policy and ethical implications. *Human Fertility*.(accepted) (査読あり)

3. 日比野由利 生殖ツーリズムへの対応: オーストラリアの事例. *医療 (国立医療学会)*(受理) (査読あり)

4. 日比野由利 生殖補助医療における「出自を知る権利」をめぐる法制度—イギリスとオーストラリアの比較—. *社会保障研究 (国立社会保障・人口問題研究所)* (受理) (査読あり)

5. 日比野由利 2018 臨床試験としての子宮移植. *女たちの21世紀(アジア女性資料センター)*93:46-47. (査読なし)

6. 日比野由利 2017 世界の国々は生殖医療にどのように向き合ってきたか. *医学のあゆみ(医歯薬出版株式会社)*263(3): 274-5. (査読なし)

7. 日比野由利 2017 卵子提供に関して、どのような制度設計が望ましいのか. *日本予防医学雑誌(日本予防医学会)*12:1-9. (査読あり)

8. 日比野由利 2016 生殖医療における医療ツーリズム. *産科と婦人科(診断と治療社)*83(3): 275-279. (査読なし)

9. Hibino Y. 2015 Implications of the legalization of non-commercial surrogacy for local kinship and motherhood in Vietnamese society. *Reproductive Biomedicine Online*.30(2):113-4. (査読あり)

10. 日比野由利 2015 台湾の人工生殖法と卵子提供ツーリズム. *産科と婦人科(診断と治療者)*82(1):105-110. (査読あり)

11. 日比野由利 2015 小児科医師の生殖補助医療に対する意識. *小児科臨床(日本小児医事出版社)*68(3):471-478. (査読あり)

12. 日比野由利 2015 英国がミトコンドリア提供の臨床応用を決定. *産科と婦人科(診断と治療社)*82(12):1440-1445. (査読あり)

[学会発表](計11件)

1. 日比野由利 2018 生殖医療ツーリズム. 第56回医学系大学倫理委員会連絡会議(2月17日)

2. 日比野由利 2017 子どものルーツをどのように伝えるか. 卵子提供・代理出産で家族をつくる(第4回)(8月26日)

3. Ishii T, Hibino Y. 2017 Mitochondrial

Manipulation at fertility clinics: regulation and responsibility. 33th Annual Meeting of European Society of Human Reproduction and Embryology. (Genova)

4. 日比野由利 2017 卵子提供のリスク:これまでにわかってきたこと. 卵子提供・代理出産で家族をつくる (第3回) (4月1日)

5. 日比野由利 2017 卵子提供・代理出産に関する世界の現状. 日本学会会議生殖補助医療と法分科会 (1月29日)

6. 日比野由利 2016 アジアにおける生殖補助医療とグローバル規制. 第23回ファイザーヘルスリサーチフォーラム (12月3日)

7. 日比野由利 2016 英国でのミトコンドリア提供認可の経過と倫理的課題. 第101回生命倫理専門調査会 (10月21日)

8. 日比野由利 2016 私がみてきた渡航先の実情と法律. 卵子提供・代理出産で家族をつくる (第2回) (8月20日)

9. 日比野由利 2016 子供に伝えるのか、伝えないのか. 卵子提供・代理出産で家族をつくる (第1回) (5月15日)

10. 日比野由利 2015 生殖ツーリズムの課題. 第10回生殖看護実践セミナー (9月12日)

11. 日比野由利 2015 代理母/代理出産について. 公益財団法人新潟県女性財団 (2月26日)

〔図書〕(計 3 件)

1. Hibino Y. 2016 Gestational Surrogacy in Japan. Eric Scott Sills (ed). Handbook of gestational surrogacy: international clinical practice & policy issues. Cambridge University Press. 174-180.

2. 野辺陽子, 松木洋人, 日比野由利, 和泉広恵, 土屋敦 2016 ハイブリッドな親子の社会学: 血縁・家族へのこだわりを解きほぐす 青弓社 42-73.

3. 日比野由利 2015 ルポ生殖ビジネス-世界で出産はどう商品化されているか 朝日選書 1-222.

〔産業財産権〕

出願状況 (計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況 (計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

〔その他〕

1. 日比野由利 編著 2017 生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 報告書 生殖補助医療のフィールドワーク. 1-227.

2. 日比野由利・石原理・小門穂・森和子・中村裕之・仙波由加里・宇田川妙子・梅澤彩 2016 平成 27 年度 厚生労働省 子ども・子育て支援推進調査研究事業 諸外国の生殖補助医療における法規制の時代的変遷に関する研究. 1-215.

3. 日比野由利 編著 2015 生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会 報告書 アジアの生殖補助医療 1-214.

4. 石原理・小門穂・梅澤彩・仙波由加里・出口顕・野辺陽子・日比野由利 2015 平成 26 年度 厚生労働省 平成 26 年度 児童福祉問題調査研究事業 諸外国の生殖補助医療における出自を知る権利の取扱いに関する研究 1-179.

5. ホームページ等
<http://hibino.w3.kanazawa-u.ac.jp>

6. 研究組織
(1) 研究代表者
日比野 由利 (HIBINO, yuri)
金沢大学・医学系・助教
研究者番号: 40362008

(2) 研究分担者
()

研究者番号:

(3) 連携研究者
()

研究者番号：

(4)研究協力者 ()